

Patent number:

JP54142089

Publication date:

1979-11-05

Inventor:

MIZUSHIMA YOSHIHIKO; others: 05

Applicant:

NIPPON TELEGR & TELEPH CORP; others: 01

Classification:

- international:

G09F9/30; G02F1/00

- european:

Application number:

JP19780050283 19780427

Priority number(s):

Abstract of JP54142089

PURPOSE:To secure a flat display of a large screen with a high luminance and low power consumption through a simple constitution by leading out the light enclosed inside the plate-type optical wave director from each position distributed at the optical wave director with variation of the refractive index and based on the picture information. CONSTITUTION:Plate-type optical wave director 4 of picture display unit 3 featuring the light transmissivity are formed into the optical reflector face at full outer side face except the area where light A is introduced from light source 1 and encloses the introduced light A with a uniform energy distribution over the entire region. Medium 6 featuring the same or higher refractive index than director 4 is formed into sheet-type substance 7 composed of the flexible and transparent resin and distributed close and over the full range on one face 5 of director 4. And pressers G1, G2... which are driven selectively with picture information B sent from picture inforamtion source 2 are distributed at positions P1', P2'..., and in case position P1' is pressed through driving of presser G1, medium 6 touches corresponding position P1 of director 4. Thus, the equivalent refractive index is varied at position P1, and then the enclosed light is led outside in the form of light L1 through position P1 and P1' to perform display.

Data supplied from the esp@cenet database - Patent Abstracts of Japan

⑩日本国特許庁(JP)

印特許出願公開

砂公開特許公報 (A)

· 昭54-142089

nt. Cl.²
G 09 F 9/30

1/00

識別記号 砂日本分類

101 E 5 104 G 0 庁内整理番号 7129-5C 43公開 昭和54年(1979)11月5日

7129-5C 発明の数 3 7036-2H 審査請求 有

(全11 頁)

5)画像表示装置

願 昭53-50283

紗特 玅出

G 02 F

額 昭53(1978)4月27日

70発明者

水島宜彦

武蔵野市緑町3丁目9番11号 日本電信電話公社武蔵野電気通

信研究所内

同

宇理須恒雄

武蔵野市緑町3丁目9番11号

日本電信電話公社武蔵野電気通

信研究所内

同

菅田孝之

武蔵野市緑町3丁目9番11号

日本電信電話公社武蔵野電気通

信研究所内

校発 明 者 石井康博

東京都港区虎ノ門1丁目7番12

号 沖電気工業株式会社内

同 新井亨彦

東京都港区虎ノ門1丁目7番12

号 沖電気工業株式会社内

问 浅生威

東京都港区虎ノ門1丁目7番12

号 沖電気工業株式会社内

竹出 願 人 日本電信電話公社 74代 理 人 弁理士 田中正治

最終頁に続く

明 相 事

1. 始明心名称 幽像没示委僮

2.年开明米〇起田

- 1. 内部に光が閉じ込められる砂になされた透光性を有するな状光導波体と、移板状光導波体と、移板状光導波体と、移板状光導波体と、移板状光導波体と、移板状光導波体との一向上に登して配されるほとを其偏し、上配板状光導波体内に光が閉じ込められた状態である。上配板状光導波体の予定の位域に接する外部は取び等地上である上配板状光等波体の上配板状光等波体の上配板状光等波体の上配板状光等波体内に消じ込められた光を外部と重な状光等波体のよいでは、上配向線情報に延く向像表示を対応するのとなる事を特徴とする四個表示を演じ。
- 2 特許請求の範囲第1項所載の画像表示装置 に於て、上記以体が徴級的外力に応じて可動 し待る媒体でなり、複似体に対する上記画像

情報に歩く伝統的外力の制御により、当該法体を上附板状光導政体の上配予定の位置に当接せしめて上配板状光導政体の上配予定の位置に登យに設する外部領域の等価囲折率を変更せしめる保になされてかる基を特徴とする画像表示が

- 3. 特許請求の範囲第1項所収の歯像表示妥留 に於て、上配媒体が電界又は低界に応じて可 回し得る群体でなり、該媒体に対する上配曲 俊情報に基く電界又は低界の制御により、当 該媒体を上配板状光導波体の上配予定の位置 に当接せしめて上配板状光導波体の上配予定 の位置に接する外配領域の等価屈折率を変更 せしめる硬になされてたる事を特徴とする歯 健養示装度。
- 4. 特許請求の範囲第1項所収の面接投示装御に於て、上配供体が収気又は磁気光学効果を有する既体でカリ、必媒体に対する上配面関係数に基く返界又は磁界の制御により、上記板状光導政体の上配予定の位置に接する外部

(1)

領域の英価屈折率を変更せしめる様になされ てかる小を特徴とする回復表示数値。

- 5. 特許胡求の認曲第1項所似の回译表示等位 に於て、上記媒体が製造性を有する媒体でな り、当該媒体に対する上記曲段的物に各く域 外の勧伸により、上記被状光導政体の上配予 足の辺値に接する外部領域の等価格折率を変 更せしめる砂になされてなる事を特徴とする ・ 曲線表示数値。
- 6. 内部に光が閉じ込められる様にすざれた遊光性を有する破状光導波体と、該破状光導波体の一面上に接して配され又は接して配される様にするなができる。 光の波母を変換せしめる性質を有する層とを共帰し、上配板状光導波体内に光が閉じ込められた状態で、上配板状光導波体の予定の位置に接する外部側球の等価原列率を変更せしめることにより、上配板状光導波体の上配予定の位置又はこれに対応する位置から上配板状光導波体のに消

(5)

の位成に接てる外部領域の上記互に組成の文 に破技の異なる光に対する等価が折率を各別 に変更せしめることにより、上記板状光導成 体の上記予定の位置又はこれに対応する位置 から上記板状光導波体内に閉じ込められた互 に個波面又は変長の異なる光を外配に各別に 導出せしめる。にして、上記面像信報に述く 上記互に個波面又は変せの異なる光による面 便表示が各別に得られる様にかされてする事 を特定とする面段表示装飾。

3.発明の評さな 説明

本発明は幽像袋示領線に関する。

画像投示装建として従来、残磁報管、ガス放 では、エレクトロルミネセンス選子、 完光ダイ オード等による世気 - 光変操手按を用いて画像要 要示を得る様になされた所建てクサイブ画像要 示型性と、液晶、エレクトロクロミック、 田化 粒等による外部光を吸収、 飲息及射、 屈折、 回 折せしめる性質を有する手段を用いて画像表示を そのはになった所具パッシブ画像殺示板像 特別四54-142029(2)

じ込められた光を上配光の波長を変換せしめる性似を有する層に通して上記板状光等波体内に閉じ込められた光とは異なる改長として外部に導出せしめる線にして、上配脚像情報に基く血像表示が得られる様になされてかる事を特徴とする画像表示装置。

- 7. 特許請求の範囲第6項所収の面像表示装置 に於て、上配光の成長を変換せしめる性質を 有する順が互に波長の異なる光を変換せしめ る複数極の層でなり、上配面像表示がカラー 表示で得られる硬になされてなる様を特定と する面像表示装置。
- 8. 内部に互に偏皮面又は波長の異かる光が閉じ込められる様にかされた透光性を有する板状光導度体と、密板状光導度体の一面上に投して配され及は投して配され得る様にかざれた異体とを其偏し、上配板状光導度体内に互に低波面又は波長の異かる光が密閉を閉じ込められた状態で、上配條体に対する歯像情報に歩く制御により、上配板状光導波体の予定(4)

とが存するも、従米の國像設示娑妲は何れも十 分別足し付るものではなかつた。

伽えは脳佐幽目による世気-光変換手段を用 いて幽谬炎示を得る様になされたアクテイブ幽 俊表示装置の場合、その感慮観賞を作動せしめ る為に高単圧を製し、乂昭徳観賞内で選子ピー ムを傾向する必要上陸値報官を海形化するに扨 羅を伴りことにより剛は表示委値を派形化する に困雑を伴い、更に、陰保器官の表示面上で表 示される四俊を重のないものとして付るに出戦 を伴うことにより幽像表示参館にて表示される 幽像を歪のないものとして得るに困難を伴う等 の欠点を有していた。又ガス放電質による電気 - 光変換手段を用いて画像表示を得る像にかさ れたアクテイプ画像表示委倣の場合、そのガス 放電管より得られる光の色調に制限を有すると とにより画像表示要性にて表示される画像の色 調に制限を有し、史にガス放電質の消費電力が 比較的大であることにより幽鍛袋示婪世の消災 軍力が大となり、更にガス放電官の後収が設績

化したりすることにより、要示される恥律を勝 **방 敢 心 尚 い も 心 と し て 得 る に 一 定 心 殿 巌 を 得 し** ていた哲の欠点を有していた。更に発光ダイオ - ドによる正式・光変侠手段を用いて画像表示 を得る砂になるれたアクテイブ画像袋示装餌の 弱台、表示される画像を大力も面積を有するも のとして得るほにかすに困難を伴う等の欠点を 有していた。何世にエレクトロルミネセンス紫 子による電気・光変典手段を申いて幽閉表示を 得る彼になされたアクテイブ画像表示装置の場 仕、そのエレクトロルミネセンス素子より得ら れる光を高い弾艇を以つて得ることが出来たい **現状であることにより幽像製示装置にて参示さ** れる鹵像が明るい鹵像として得られず、又エレ クトロルミネセンス名子の母話が比較的短い現 状であることにより幽御殺示藝術の母館が比較、 的短い等の欠点を有していた。

父疫苗、エレクトロクロミンク、 磁化 収等に ころ外部 光を吸収、 散乱、 反射、 屈折、 回折せ しめる性質を有てる手段を申いて 四段 表示を 伊

(7)

第1 図は本発明による画像表示接望を用いて 画像表示を待る場合の概念図を示し、光頭1よりの光Aが画像情報の2よりの画像情報はに差 き制껮された本発明による画像表示装配3に供 始され、而してこの本発明による画像表示装配3に供 はされ、而してこの本発明による画像表示装配3に供 以上にて本発明による画像表示装置3を用い て 画像表示を得る概念が明らかとなつたが、以 下本発明による画像表示装置3の実施例を詳述 しよう。

第2図は不発明による画像製示装置3の第1の実施例を示し、内部に光が閉じ込められる碌になされた遊光性を有する被状光等破体4と、その板状光導破体4の一面5上にその実効面の全域に亘つて接して配され得る似になされた媒体6とを具備する。

この場合板状光導政体 4 は第 1 図にて上述せる光線 1 よりの光 A を外側面上の所定の位置 (図示せず)より内部に導入せしめるものであるが、実験上光学カラス又は透明樹脂にて製出 特問昭54-142089(3)

る様になされたパッシブ画像袋示装値の場合、 これを比較的低い電圧又は比較的弱い斑界を用いて作動せしめ得るという長所を有するとして も、表示される画像を明るく且高コントラスト を有するものとして得るのが困難であると共に、 一般に周囲光の影響を受け易くこの為周囲光に よつて表示される画像を観る角度によつて表示される画像の品質が左右される等の欠点を有して いた。

更に従来の画像表示装置の場合、それがアクテイプ画像表示装置であつても又パッシブ画像表示装置であつても又パッシブ画像表示装置であつても、お示される画像を通路交通情報のサービスに用い得る如き大面積、高輝度を有するものとして得るのが困難であつた等の欠点を有していた。

依つて本発明は上述せる従来の画像表示整盤 の欠点を一緒し得る新規を画像表示整理を提案 せんとするもので以下図面を伴をつて辞述する 所より明らかとなるであろう。

(8)

され、乂外側面上の光Aの導入される位置を除 (全外側面が光学的反射面(図示せず)となさ れ、依つて板状光導波体4内に導入された光を その磁状光温度体4内にその全域に負つて一般 のエネルギ分布を以つて閉じ込める様になされ ているものである。又媒体もは最被的外力に応 じて可効し得る透光性シート状体1でなること により収状光導放体4の一面5上にその実効面 の全域に直つて殺して配され得る様になされて いるものであるが、実験上透光性シート状体) は、透明樹脂にて板状光導放体4と等しいか又 はそれよりも大なる屈折率を有し且可能性を有 するものとして製出され、而して常時はその板 状光導版体 4 の一面 5 上の実効面と近接対向し て配されているも、 板状光導放体 4 の一面 5 上 の実効血上の予定の位置 P1、P2 … … に失 天対応する位置P1、P2---が、位位P1、 P2 ····· 化対応して板状光導波体 4 側に失々 予め設けられた第1図にて上述せる画像情報が 2よりの画像情報BK基き各別に選択駆動制御

(11)

順し、而して板状尤母破坏 4 内に光 A が閉じ込 められた状態で、媒体6代対する幽談消世日代 抵く制御により、放び光導波体4の予定の位置 に接する外部領風の等価屈折率を変更せしめる ことにより、仮状光与波体 4 の予定の位置から 放状光端放体 4 内に閉じ込められた光を外部に 毎出せしめる様にして、歯ぼ情報Bに堪く鹵ぼ 投示が付られる依になされてなるという丈けの 併成であるので、その解放が関あであっと共に 個平であり、又依状光導政体4の予定の位置に 接する外部領域の等価組折率を変更せしめる為 の媒体もに対する幽像情報に強く制御はこれを 餓地正確になし得るので、表示される幽谈を重 のない且解课度の高いものとして得ることが容 易であり、更に被状光導理体4に導入する光を 所疑の色調を有するものとすることにより所望 の色相の幽球投示を得ることが出来、更に媒体 6 に対する画像情報に話く倒興をなすにつき俏 貸取力も少なくて終むものであり、何見に仮状 尤導政体 4 を所選の大いさとすることにより画

特別取54-142089(4)

一ト状体 7 の位置 P 1 の 部に変更せしめられる
ことにより、その位置 P 1 に接丁る外部は知の
いかのである。 使つて 仮状光導波体 4 内に閉じ込められ
たたが位置 P 1 として外部はないである。 又破状光導波体 4 の位置
は P 1 以外の位置よりの外部への光の導出はない
ものである。

改つて上述せる本発明による適像表示張俊の 第1の実施例の務成によれば、適像情報Bに若 き幽像数示が得られるものでる。

斯く第1図にて上述せる本発明による函像表示要値にLINU、面像表示を得ることが出来るものであるが、この場合、その解成が内部に光が閉じ込められる様になされた遊光性を有する板状光彩波体4と、その板状光導波体4の一曲5上に送して配され得る様になされた媒体6とを具

(12)

次に第3図につき本発明の第2の契施例を述べるに、第2図との対応部分には同一行時を附して詳細説明はこれを省略するも、終2図の辞成に於てその解体6が被状光導破体4の一面5上にその契効血上の所定の位置に接して配される際になされた媒体16に位換されてなることを除いては第2図の場合と同様の構成を有する。但しこの場合媒体16は被状光導破体4の位置P1、P2……に当送せしめられるが代性設された機械的外力に応じて可動し得る遊光性経

特開昭54-142089(5)

触子H1、H2………よりなることにより、板 状北母政体 4 の所定の位置に接して配される様 化なされているものであるが、実験上遊光往接 触子 H 1 、 H 2 … … 一 は 押 圧 子 G 1 、 G 2 … … - の先端に失々収付けられた構成を有し、又扱 松子H1、H2 ·····の夫々は武明 何 脂 に て 板 状光母吸体 4 と寄しいか义はそれよりも大なる 屈折率を有し且光の導入义とれよりの導出をな さしめる先端面aとその反対側の反射面bとを 有するものとして製出され、而して桜畑子H1、 支持された状態で破状光導波体4の位置11、 P 2 -- ··· ·· と近桜対同して配されているも、画 保情報 B に 基き谷別に選択駆動制御されて可動 する神圧子は1、CI2 ······ を介して板状光導 波体 4 の位世 P 1 、 P 2 … … に 局部的に 当接 すべく制弾されるほになされているものである。 尚极状光浮波体4の媒体16個とは反対側の面 5 上にはその全域に亙つて仮状光導波体 4 より 小なる屈折率を有する透光性のクラッド増17 (15)

となるものである。従つて仮状光導放体 4 内に 田じ込まれた光が位置P1より接触子H 1 内に その先端面 a より入り次で反射面 b に反射面 b に反射面 b に反射面 b に同り c に れ、そして 板状光導破体 4 ークラット層 1 7 ー マスク 1 8 の深 J 1 を通じて 球体 1 6 個 と t れ 対側より外部に光し 1 として 球出し b から のである。 又板状光導波体 4 の位置 P 1 に のではに 法する外部 観 なは 板状光 P 1 に の外部 されている 等 開気 であるので位置 P 1 に の外部 るマスク 1 8 の窓 J 1 以外の窓を通じての外部 への光の 導出 はなされないものである。

依つて上述せる本名明による幽塚表示疑性の 第2の実施例の解成によっても、第2図にて上 述せる場合と何様に幽像表示が得られるもので ある。 义斯る本語明の第2の失施例によれば、 その解成が、 評職説明はこれを省略するも、 第 2 図にて上述せる本発明の第1の失施例の構成 と问録であるので、 第2図につき上述せると同 碌の大をる特徴を有するものである。 尚本例の 場合はクランと確とと変更と変更変更変更更更 以上が本発明による回像表示装置の第2の策 脳例の群放であるが、斯る被放によれば、第·2 図にて上述せる第1の災施例の場合と同様に低 状光導政体 4 内に光 A を導入せしめればこれが この放状光調液体4内に閉じ込められるもので あるが、斯る状態で、既体16従つて接触子 H1、H2……一に対する之等を板状光導破体 4の位置P1、P2……に夫々可動せしめて 当後せしめる歯は情報Bに基く制御を、弾圧子 ひ1、ひ2………を介して各別になせは即ち悩 単の為例えば役触子H1のみを位置P1に当扱 せしめる制御をなせば、板状光導波体4の位置 P1に投する外部領域が板状光導液体4の配さ れている雰囲気であつた状態より延紀子H1K 変更されることにより、その位置P1に接する 外部領域の等価屈折半が変更せしめられること

クラット№17を有して、板状光導波体40面5'化芽翅気中の破粒子、水蒸気、油等が附着することによる板状光導波体4よりの光の确出を防止し、父マスク18を有することにより、より鮮明な高い品質の画像表示が得られるものである。

(16)

次に結4図につき本発的の第3の実施的を述べるに、第3回との対応部分には同一符号を附して評価説明はこれを省略するも、第3回の位置に対してその媒体16が板状光導波体4の位置に下1、F2……に付当動し得る透光接触を引い、日2、……に対しての場合実際上接性子に、日2、……に対しての場合実際上接性子に、低2……にの前面に夫々取付けられた検証を有し、又接触子H1、H2、……の夫々ははよりに、又接触子H1、H2、……の夫々は明まると、でははよりにな出された被成を有するも、光導版体4

の回5に多段の区面領域M1、M2………を形 成せる以画板28を有する板体29が対问して 此されて晦者間に光母波体41り小なる屈折率 を有する俗版30が収捌され、而して松肥子 … 化取付付与力 无状態 不溶版 3 0 内心也体 2 9 心区幽板28にて区幽された領域M1、M2… ……に夫々対応する位置に可動自在に配され、 低つて接触子日 1′、日 2′······· は常時は過当な **磁界が磁性片K1、K2………に作用せしめら** れていることにより敬状光導破体4の位位と1、 P 2 ………と近接対向して配されているも、曲 俊情報Bに歩く磁界にて磁性片K1、K2…… …を各別に選択駆動せしめて位置と1、F2… ……に同邸的に当接すべく創御される像になさ れているものである。 尚本伽では引る凶のマス ク18が省略されているがそのマスク18を第 3 凶の場合と同様に改け行るものである。

以上が本発明による幽像表示の第3の実施が の様似であるが、別る様似によれば第3図の場 (19)

次に出る四につき本発明の第4の尖腕例を述 べるに、引る図の出るの実施例との対応部分に は同一将号を附して辞油説明はこれを省略する 4、おろ凶の何以に於てその無体16が九時段 44の 45 上にその夹効面の全域に亘つて 低し て配された無気光学効果を有する妖体36亿程 淡されてなることを除いては第3凶の場合と问 娘の構成を有する。但しての場合媒体36は、 光導破坏4の面5と対向して配された内面父は 外面を光字的乱反射血るフ(図に於ては内面) とせる仮体38(但し外由を反射四31とせる 協合は近光性を有する材料例えばカラスにて製 出されている)内に収谷された分散質をそれが 证罪化记じた时效体如规制化より移动规制を呈 すべく含む経改るタでなり、一方収は38の光 当選年4個とは反対期の由上の尤分成年4の位 做P1、P2……… 化对応寸为位以化吸值E1、 E 2 -- -- が附され、又クラッド / 1 7 の光導 近体4 側とは反対側の由上に近個E1、E2…

特開網54-142089(6)

台と同僚にして低状光導政体 4 円に光を閉じ込 められている状態で、健体26位つて伝触子 H 1′、H 2′………に対する之等を板状光導政体 4 0 位 屋 ア 1 、 ア 2 … … に 夫々 当 接 せ る 画 俊 情報 B 亿 越 C 创 倒 S 、 磁 生 片 K 1 、 K 2 ……… を介して各別になせは即ち関単の為例えば接脛 子H 5′及びH 8′のみを夫々位は 12 3 次び 12 8 に 当接せしめる制餌をでせば、第3凶の移台と向 保に位置P3及びP8に接する外別領域の委曲 **囮折率が変更せしめられ、これにより弟3辺の** 慰台と向後に包状光導波体 4 円に閉じ込まれた 光が位置P3及びP8ょり設础子H3′及びH8′ 内にその先端面2より入り次で反射面トにて反 射され、そして板状光導波体4-クラント層 1 7 を迪じて外部に夫々尤L3及びL8として 労出せしめられるものである。

依つて弟4凶にて上述せる本発明による画像 表示委座の弟5の実施物の雑成によつても、第 3凶の弟2の実施例の場合と同様の特徴を有し て画像表示が待ちれるものである。

(20)

して終体36は常時はそれを構成せる分散質をして解放39内に均質に分散しているも、幽髏情報日に告く所製の電圧を電磁区1、区2………の失々と電磁区0との間に印加せしめて解散39の光導破体4の位置P1、P2………に所製の磁界を生せしめれば、それ等領域P1、P2………でそれ等領域での分散質をして電界に応じた電気体動現象による移動現象が生する。に、副側される係になされているものである。

以上が不完明による回路投示装置の消4の実施例であるが、所る構成によれば割3図の場合と同様にして光導波体4円に光を閉じ込めている状態で、破体36従つて格征39の光導设体4の位置P1、P2"………に対応する領域を20大量とを各別に用いた電界を用いてなせば即ち陥単の為例をは領域P3"及びP8"での所る制御をなせば、光導破体4の位置P3及び

使つて第5四にて上述せる本発明による画像 設示設置の第4の実施例の構成によつても、第 5四の第2の契拠例の場合と同様の特徴を有し て囲場設示が待られるものである。

次に第6図につき本発明の第5の実施例を述べるに、第5図との対応部分には同一符号を附して詳細説明はこれを省略するも、第5図の依任38が反射四37を有さず、又透明監修と0

以上が本始明の36の契頼例の構成であるが、 断る例以によれば、評細説明はこれを省培する も、前根と1及ひと1、 と2及びE2 "……の 間に行別に関保情報 B に些く所要の礼圧を印加 せしめれば、群被39の領域 P 1"、 P 2"……… の分散復に任別にら初現象が生すること明らか であるので、図示の如く例えば元母政体4 例よ り又は忍示せざるも 政体38 隣より光母政体4 内に別じ込められた 光が外部に毎出されて、弱 6 図の場合と同様の特徴を有して画像表示が得 られるものである。

特開昭54-142089(7)

が放体38の内血側、電低11、152……一が クランドは17期に夫々附されていることを除 いては吊5図の場合と同様の解説を有する。

以上が本発明の選5の契拠例の構成であるが、 斯る特別によれば、評細説明はこれを省略する も、第5 関の場合と関係の設務を以つて光導波 体4 内に閉じ込まれた光が外部に、但し破体 3 8 が反射面 3 7 を有しないことにより破体 3 8 個より外部に導出されることとなつて第5 図の場合と同様の特徴を有して画像姿示が待ら れるものである。

次に第7図につき本発明の報6の実施例を述べるに、第6図との対応部分には同一符号を附して評細説明はこれを省略するも、第6図の電位E0、E1、E2……が、破体38の円面上の光導破体4の位置P1、P2……に対応する位置に附された時の電運E1及びE1、E2及びE2、一の組に遺換され、又クラット層17が省略されてなることを除いては第6図の場合と同様の裸成を有する。

(24)

特別四54-142089(8)

盾とし得、そして旧F1、F4……;F2、F5……; 放びF3、F6……~ を 互に異なる 色調の 得られる光の彼 長に光の 故 校を変換し得る 材質 例えば 赤、 緑 及び 腎の 光に光の 彼長を

変換し得る材質とし得るものである。

(27)

向上述に於ては本発明の値かな実施例を示したに留まり、本発明の精神を脱することなしに 種々の変更変想をなし得るものである。

即ち例えば図示辞謝説明はこれを省略するも、 364図にて上述せる構成に於てその媒体26を 構成せる姿無子H1、H2………を夫々取付け てなる磁性片K1、K2………を例えばエレク 得る解放であるという大なる特徴を有するもの である。

次に弱10凶につき本発明の餌9の突縮例を 述べるに本例に於て誤5図との対応部分には問 一符号を附して詳細説明はこれを省略するも、 弱5図の媒体36が、電気光学効果により互に 協波町の異なる複数の光に対して復屈折率を呈 する例えばネマチンク液晶、スメクチンク液晶、 コレステリンク液晶等の液晶材料等の材料にて 型出された媒体56に健慢され、又光導波体4 が互に個波面の異なる複数の光を内部に閉じ込 める像に解放されていることを除いては弱5図 の場合と同様の裸成を有する。

以上が本名明の部 9 の実施例の構成であるが 斯る構成によれば、電磁 B 0 と電磁 E 1 、 E 2 … … の 大々との間に興保情報に悲く所要の電 圧を印加せしめれば、 媒体 5 6 の光導液体 4 の 位置 P 1 、 P 2 … … に対応する領域 P 1 。 P 2 … … … の 互に偏波面の異なる光に対する曲 折率が変更し、依つて光導液体 4 の位置 P 1 、

(28)

トレット材料の四き塩気分値を保持する性質を有する材料片に低無せしめてなる研成の供体に は映し、これに応じてその媒体の材料片を磁界 に代えた電界に応じて駆動せしめる様になし、 彼つて電界に応じて可動し得る媒体に対する歯 彼情報に悲く電界制御により、その媒体を光導 波体の予定の位置に当該せしめて板状光導液体 の予定の位置に接する外部領域の等価屈折率を 変更する様になすことも出来るものである。

り 毎 以光字効果を有する材料でなる媒体に直換し、 回像に光母破体の予定の位はに設する外部 領域の 守価 屈折率を変更せしめる碌になすこと も出来るものである。

更に射8図にて上述せる構成に於てその媒体46個より外部に光を呼出せしめる硬になすことも出来るものである。又第8図にて上述せる構成に於て、その媒体46を無罪に応じて屈折率が変更するKDP(KH2PO4),LiNbO3 ,LiTaO3 ,LiTaO3 ,LiTaO3 ,LiTaO3 ,LiTaO3 ,LiTaO3 ,是公理体に、更にはYIG、Eu3Ga5O12 等の磁気光で効果を有する材料でなる媒体に、更にはYIG、Eu3Ga5O12 等の磁気光で効果を有する材料でなる媒体に関連して、この場合の媒体に応じてこれを電野又は磁界にて制御せしめ、光導波体の予定の位成に提する外部領域の等価圏折率を変更せしめる傾になすことも出来るものである。

更に再9回にて上述せる碑成に於て、その光の成長を変換せしめる性質を有する層F 1、F 2 ………をクラッド値 1 7 個に配して再9回にて (31)

画像情報の走光想像に応じて走査せしめて、所 朝の画家表示を待る様になすことの出来ること 勿論である。

4. 図面の耐単な説明

湖1 図は本発明による國家表示要値を用いて 國家投示を得る場合の試念図、第2 図、第3 図、 選4 図、 第5 図、 第6 図、 第7 図、 第8 図、 第 9 図及び第1 0 図は天々本発明に収る画像表示 委成の実施例を示す路線的製部の減期の図であ

図中1 は光線、2 は雪銀情報線、3 は画像表示装成、4 は板状光導成体、6、16、26、36、46及び56は媒体、P1、P2……… 及びP1、P2が1の位置、G1、G2…… ・ は神圧子、H1、H2・・・・・ なびH1、H2・・・・・ は接触子、17 はクラットル、18 はマスク、M1、M2・・・・・ は区の領域、28 は区画板、29 及び38 は仮体、30 及び39 は移板、K1、K2は低性片、B0、E1、B2・・・・ は低速、P1、P2・・・・ には破、F1、

特別四54—142089(9)

上述せると问録の作用効果を得る様になすことも出来るものである。 义治 F 1 、 F 2 ………を 起其処光性を有するものとし、 随像投示を設光 性を有するものとして符る砂になすことも出来 るものである。

父媒体として電界に対してヒステリシス特性を呈する電気光字効果を有する媒体を用い、 幽 課表示を保存する機にをすことも出来るものである。

史に胡10凶の佛政に於て、その媒体56を 世気光学効果により互に改長の異なる被致の光 に対して互に異なる放長分散特性を呈する材料 による媒体に健決し、而して光導政体に互に改 長の異なる複数の光を供給する様にして、第10 凶にて上述せる場合に準じて互に放長の異なる 光による歯ぽ裂示例えば派及び縁の歯ぽ炎示を 各別に得る様になすことも出来るものである。

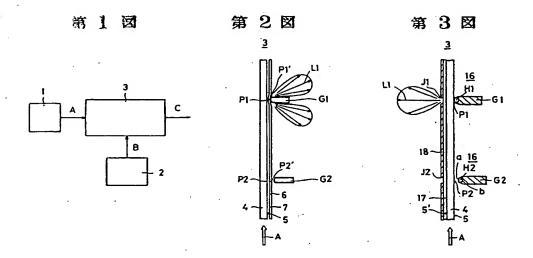
又表示される画像の題様の詳細については述べなかつたが、画像情報が走査画像情報である場合、光導故体の予定の位置をこの場合の走査(32)

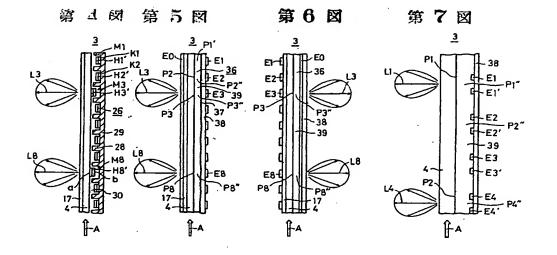
F2……は光の放長を変換せしめる性質を有する値を失々がす。

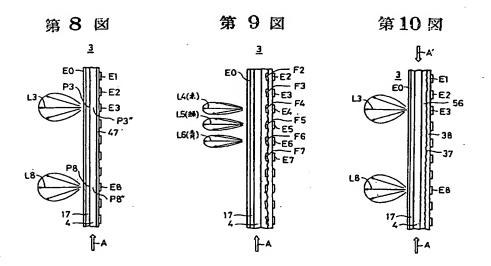
出顧人 日本電信電話公社

问 冲电気工業 铁式会社

代理人 并过士 田 中 正 四。







第1頁の続き

71出 願 人 沖電気工業株式会社 東京都港区虎ノ門 1 丁目 7番12 号